

吾妻山

○概況

振幅の小さな火山性微動が数回発生しましたが、地震活動は穏やかな状態が続いており、大穴火口(一切経山南側山腹)付近の噴気の状態に大きな変化はみられませんでした。

地震活動の状況

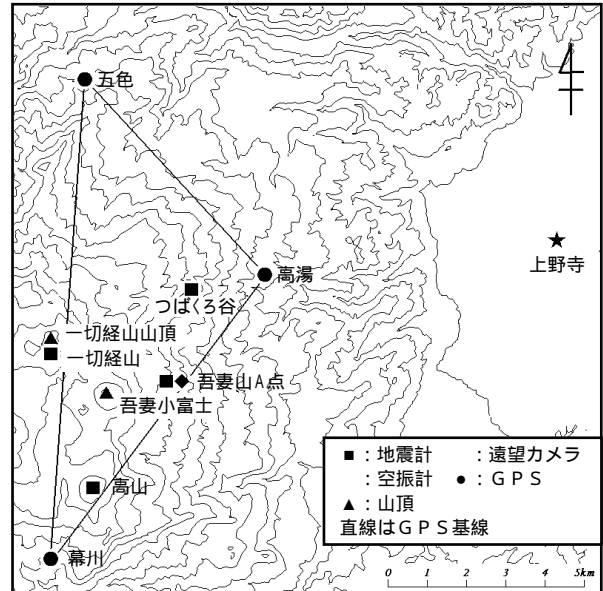
火山性微動は4回観測されましたが、継続時間、振幅ともに小さいものでした(10月なし)。

この火山性微動の前後で、地震回数の増加など変化はありませんでした。

火山性地震の月合計回数は30回でした(10月31回)。地震回数は今年1月をピークに消長を繰り返しながら低下し、9月以降は穏やかな状態が続いています。また、震源が一切経山の西に求まる地震が観測されましたが、体に感じない微小なものでした。

モホ面付近(深さ30km前後)が震源とみられる低周波地震は、3回観測されました(10月なし)。

吾妻山の火山活動評価作業に伴い、火山性地震回数基準を過去に遡って変更しました。このため、今年9月以前の解説資料の月合計回数と違ってしています。



吾妻山火山観測点配置図

噴気活動の状況

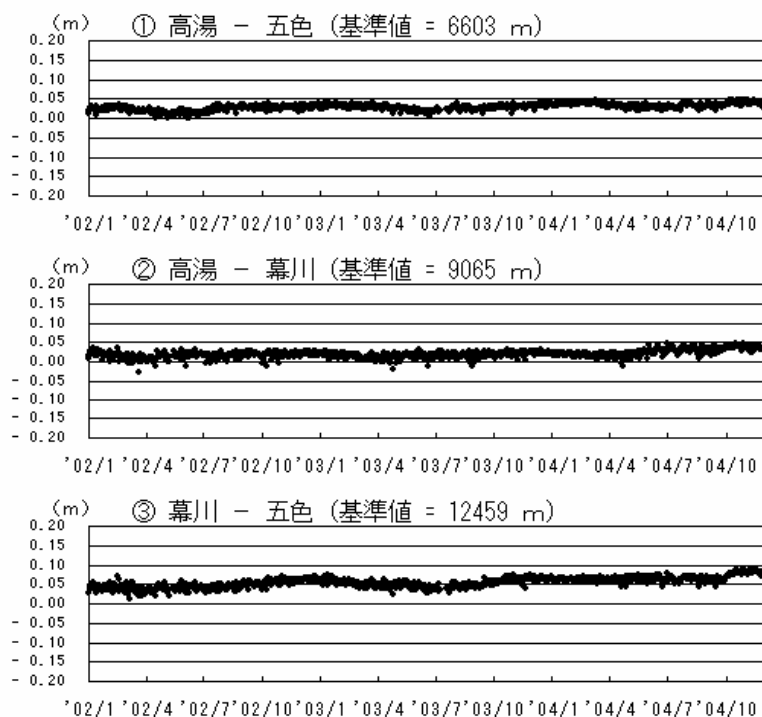
遠望観測(監視カメラ)では、大穴火口付近の噴気の高さは30m以下で経過し、大きな変化はみられませんでした。

地殻変動の状況

GPSによる観測では、火山活動によると考えられる変化はみられませんでした。

現地観測の状況

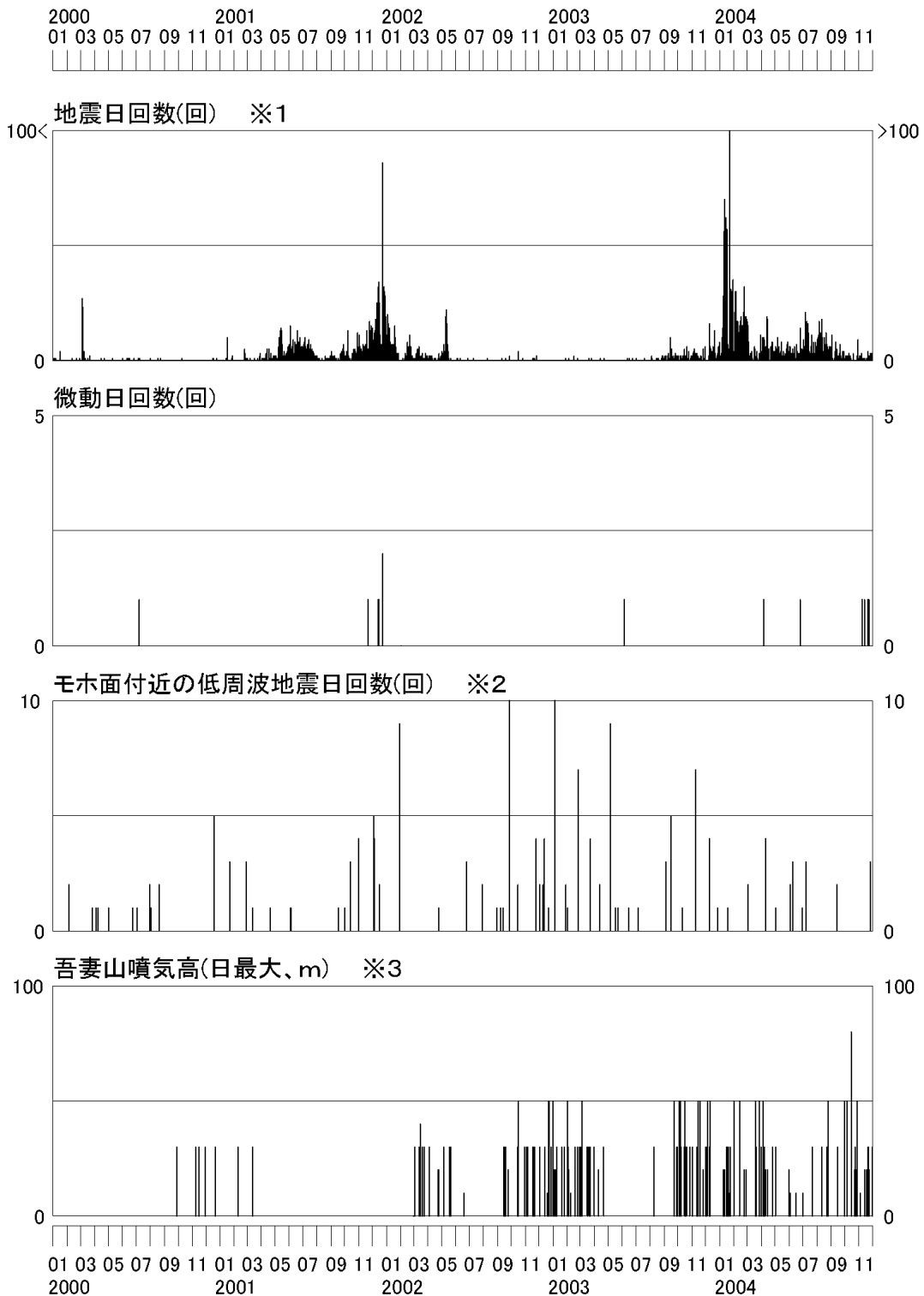
10月28日に現地観測を実施しました。その結果、噴気・地熱地帯などの状況に変化はみられませんでした。



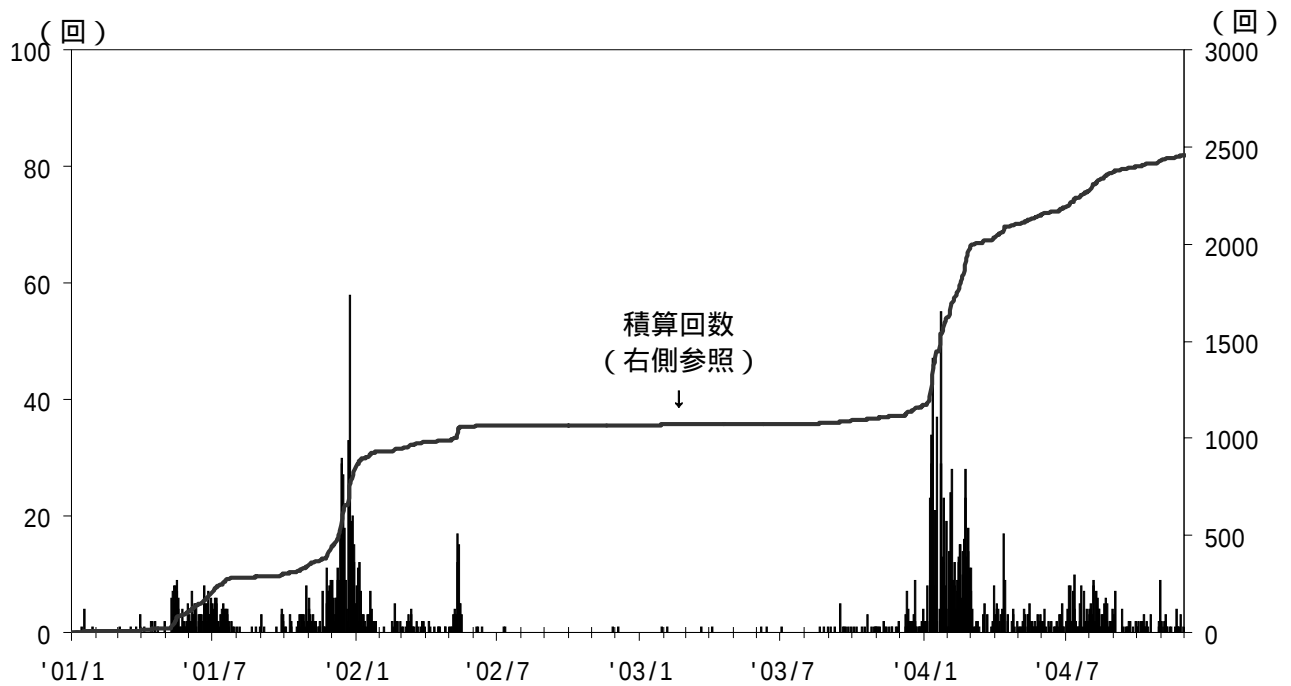
GPS基線長変化図(2002.1~2004.11)

吾妻山 活動一覧

2000/01/01～2004/11/30

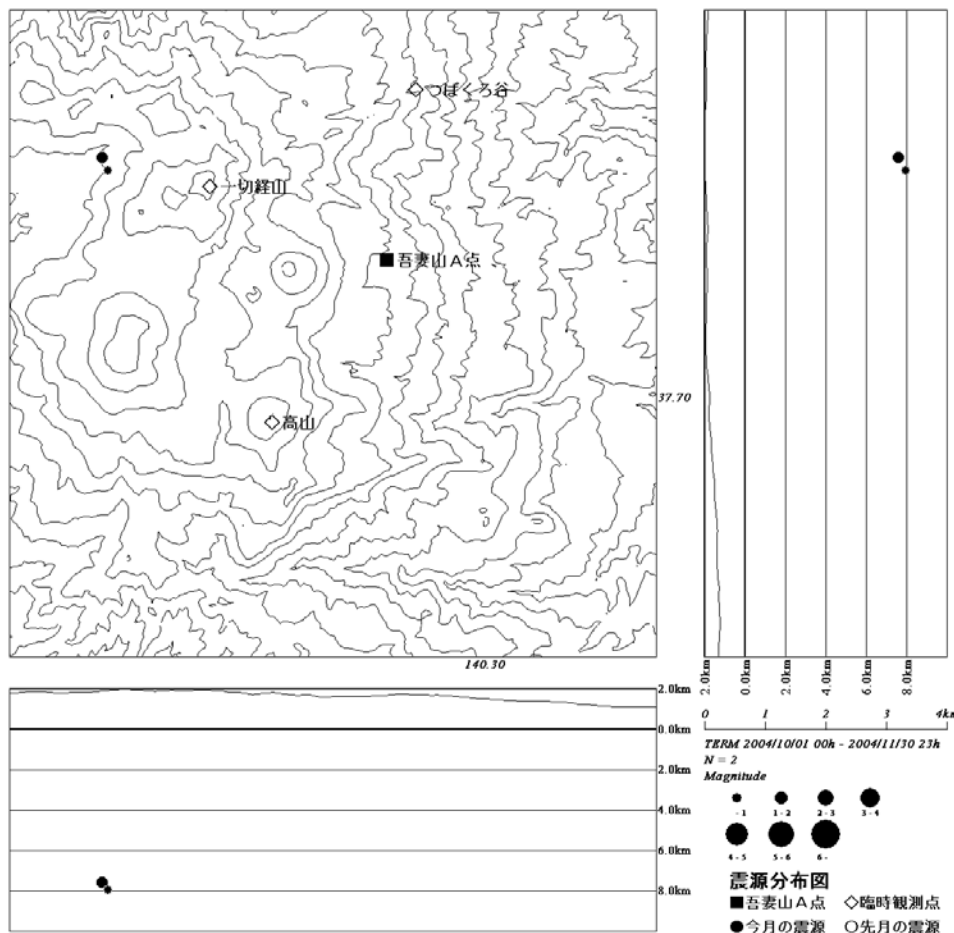


- * 1 地震回数基準を過去にさかのぼり変更しました。このため、前回（9月）以前の解説資料の日回数グラフと違ってしています。
- * 2 東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。
- * 3 2002 年 2 月以前は定時及び随時観測データ。
2002 年 3 月以後は収録データにより全時間を精査。



吾妻山 A 点（気象庁）の地震計による日別地震回数と積算図
(2001.1.1～2004.11.30)

地震回数基準を過去に遡って変更しました。このため、2004 年 9 月以前の解説資料の日回数グラフとは異なります。

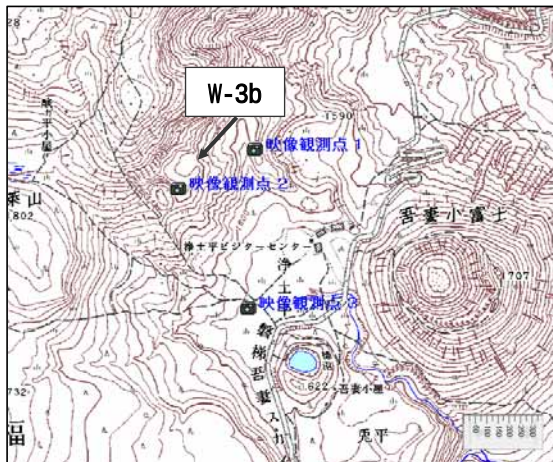


吾妻山震源分布図
(2004.10.1～2004.11.30)

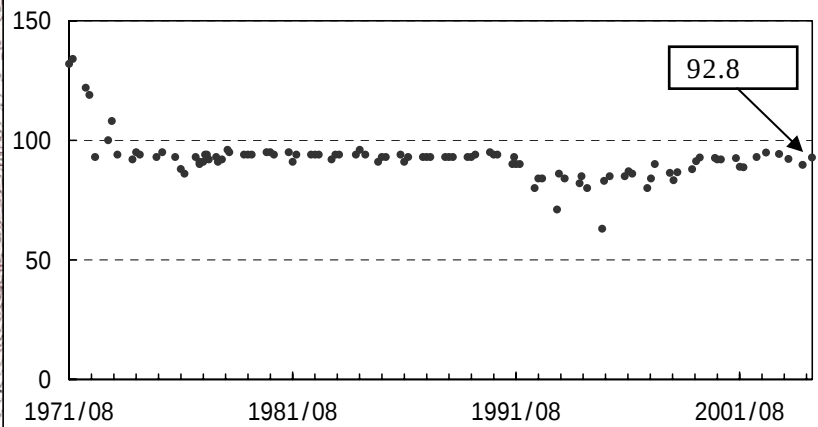
吾妻山現地観測の状況

10月28日に、本年度第2回目の現地観測を実施しました。

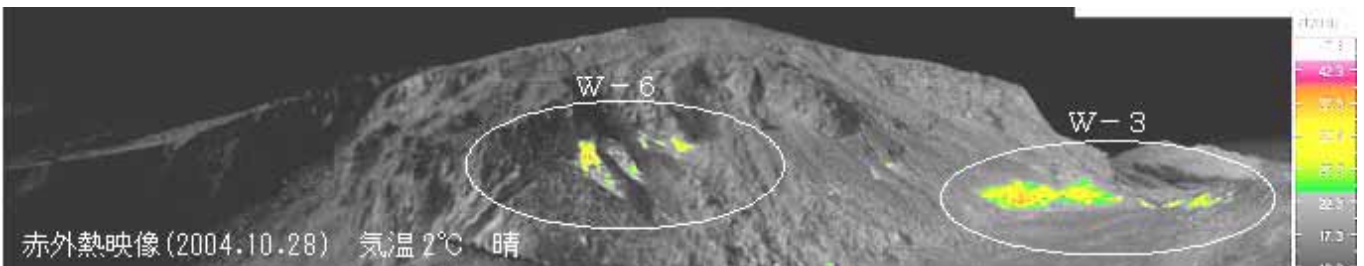
熱映像装置による地表面温度分布、及びサーミスタ温度計による噴気、地中温度の観測結果では、前回(2004.5.26)同様、大穴火口付近の噴気、地熱の状況に異常はみられませんでした。



赤外熱映像観測地点図

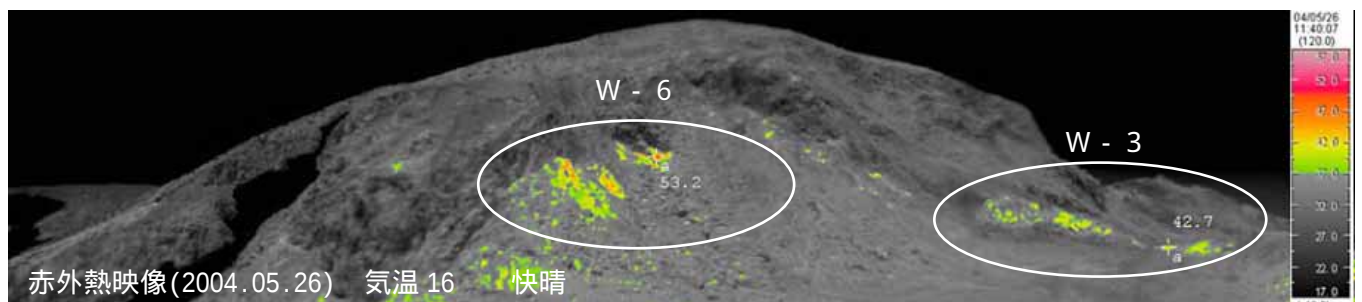


八幡焼(W-3b)の噴気温度変化図
(1971年8月～2004年10月)



映像観測点2からの可視画像(上)と赤外熱映像(下)

赤外熱映像で色のついていいる領域は周囲に比べて温度の高い領域(地熱地帯)を示しています。
なお、赤外熱映像では日射の影響で観測点(W-3、W-6)以外でも温度が高くなっている所があります。



前回(2004年5月26日)の赤外熱映像